

悲願達成

原ゆうじ4年越しの提案が実現! 防犯灯全面LED化完了! 市内防犯灯(36,000灯)オールLED化に!

松戸市が
明るく

& 7億円以上の
大幅コスト削減

& CO₂
削減!



税金の無駄遣いは許さない!



3月22日、約1か月続いた3月議会が終了。28年度の各予算案が可決となりました。

予算審議のなかで、リース方式による市内防犯灯のLED化工事(約31,000灯)が終了したとの報告がありました。そしてその28年度予算では、防犯灯全面LED化後の費用について盛り込まれ、大きな費用削減効果があることがわかりました。これにより、原ゆうじが4年越しに訴えてまいりました提案が実現することになりました。

さて、市内防犯灯約36,000灯がどのように管理されていたのか?これからどのように変わるのか?どれだけ費用削減になるのか?原ゆうじ渾身の市政レポートで、詳しく報告いたします!

原ゆうじのプロフィール

1965年 松戸生まれ 上本郷小、第六中、立教高校、立教大学理学部 化学科 卒
[商社]長瀬産業(株)勤務を経てベーカリー店経営
現北松戸商店会会長
2010年 市議会議員初当選。現在2期目。

TEL&FAX 047-367-6754
E-mail yuji.hara88@gmail.com
公式ホームページ
<http://www.hara88.mobi>

原ゆうじ

検索

年1億円以上節約!その理由とは?

LED化以前の防犯灯は?これまでの経緯について...

全面LED化への大きな壁! 初期費用約13億円必要&町会所有

市内防犯灯内訳(合計36,000灯)	市内防犯灯は、約36,000灯あり、その所有権は各町会(自治会)にありました。
LED灯 約5,000灯	リース方式により LED灯 20W相当 約36,000灯へ
蛍光灯 20W 約5,000灯	
30W 約5,000灯	
42W 約3,000灯	
水銀灯 42W 約23,000灯	その防犯灯のうちLED化されていたのは、わずか約5,000灯で、残り31,000灯をLED化するには、市認定LED化工事費は1灯当たり43,000円(LED灯20W)であったので、市、町会あわせて(注1)31,000灯×43,000円=約13億円の費用が必要でした。 (注1)LED化工事費用負担割合。原則、市8:2町会 この高すぎる初期費用に加え、防犯灯は町会所有のため、入札などによる費用削減策も市が勝手に行うことは出来ませんでした。

長寿命&省エネLED灯の大きなメリット 電気代は半額&修繕費もゼロに!

しかし、LED灯は長寿命&省エネで、主力の水銀灯をLED灯にした場合、電気代は約半額。また、LED灯の寿命は10年以上とされ、水銀灯(球交換の目安:2年ごと)に比べて、修繕費(球替え費用)はゼロとなることから、予想されていました。

原ゆうじの提案! リース方式&入札導入で全面LED化を!

そこで、全面LED化への大きな壁である初期投資&町会所有の壁を打ち破るべく原ゆうじが提案したのが、リース方式(10年)&入札制度導入でした。

そして、様々な困難を乗り越え、市もこの提案を受け入れ、遂に昨年、競争による業者選定を行い、また町会の同意を得て昨年の秋口から、市内防犯灯31,000灯のLED化に着手しました。

ついに提案実現!大きな費用削減! 初期費用で7億円、経費で年1億円以上!

その結果、LED灯20W、1灯当たりの設置費用は、**従来の43,000円からなんと18,921円(10年リース総額)**となり、約24,000円も安くなりました。なので、仮に31,000灯をLED化するとすれば、従来は約13億円必要と試算されていたのが、31,000灯という圧倒的なスケールメリットが活かされ、18,921円×31,000灯=約6億円となり、**何と!約7億円の削減**となりました。

また、年間費用も、電気代で約7300万円、修繕費で約3000万円、合わせて**1億円以上の費用が削減**になることになりました。まさに感無量!本当にうれしい限りです!

今後もタテ割意識を排除して、他施設のLED化を目指します!

市施設を見渡せば、まだまだ照明はあり、LED化されていないもののほうが多いのが現状です。しかし、市施設はそれぞれの担当課が各施設の管理をしています。今後、スケールメリットを活かし、LED化を進めるためには、市組織の縦割り意識を排除して、横の連携をして、施設ごとに照明のデータを出し合い、数をまとめて導入を図る必要があると思います。

今後のLED化=市特有の縦割り意識の排除、今後も原ゆうじは、実現に向けて全力で頑張ります!!